

地上式単口消火栓

Aboveground One Way fire-hydrants

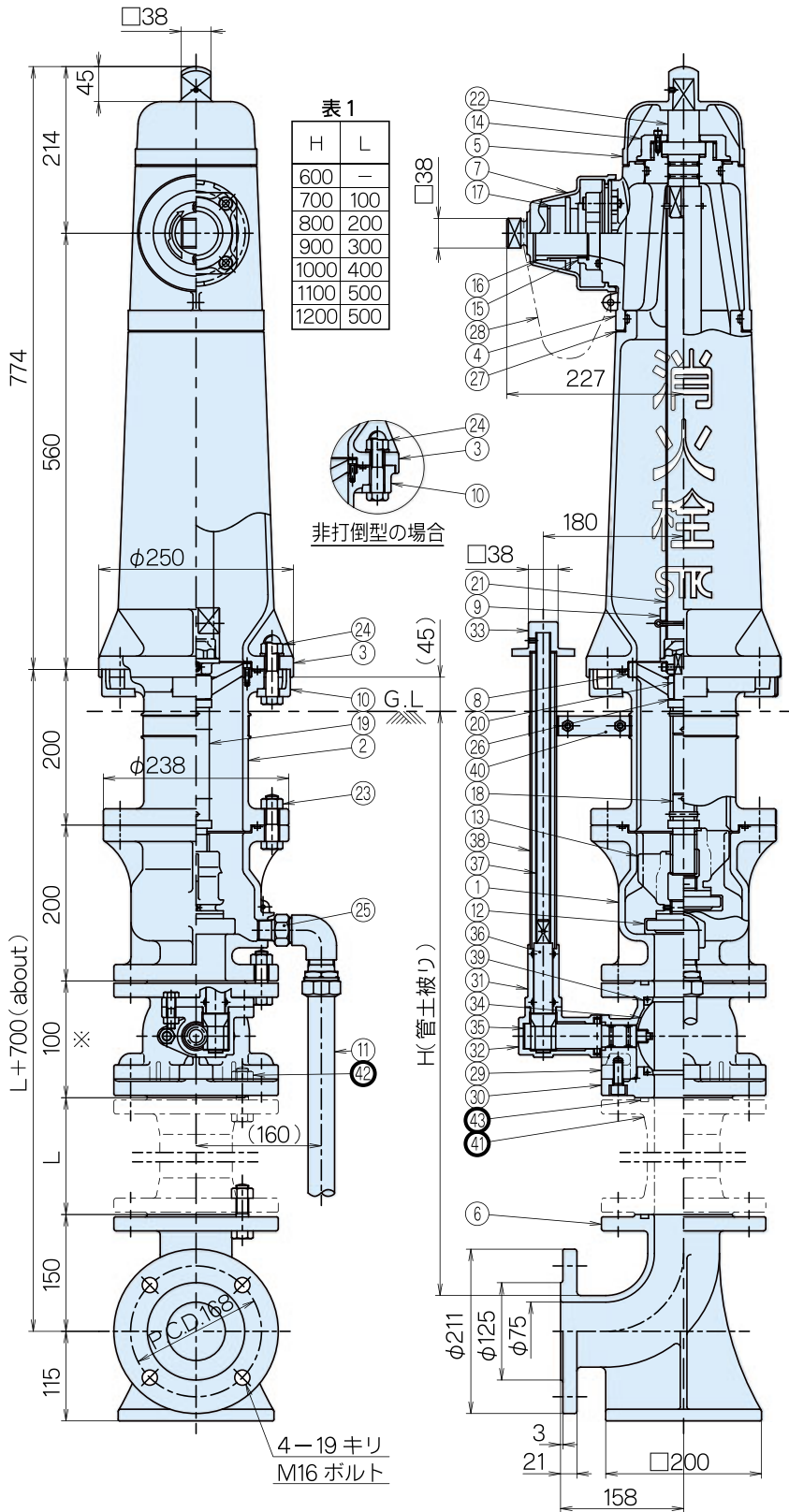
優れた耐久性と機能性を持った消火栓登場!



ここがポイント

- **口金が回転**
口金が360度回転する為に、ホースの移動が楽になり、消火活動がし易くなります。
- **安全打倒式 (UR-37シリーズ)**
万一、自動車等が衝突しても地上部は破損せずに倒れ、かつ地中部への衝撃荷重もないため、連結部品を取り替えるだけで復旧可能。
- **排水弁で残留水追放**
寒冷地による本体・地中管内の残留水は凍結し破損する恐れもあります。圧力反応形でもあるスプリング式排水弁は迅速な排水を行ない凍結破損を防止します。

構造・寸法・材質



品番	部品名	材質
1	弁箱	FCD450-10
2	短管	FCD450-10
3	本体	FCD450-10
4	回転本体	FCD450-10
5	キャップ	FCD450-10
6	乙管	FCD450-10
7	口金キャップ	FCD450-10
8	振れ止め	FCD450-10
9	ジョイント	FCD450-10
10	打倒用こまアダプタ	F C 2 0 0 FCD450-10
11	排水管	P E
12	下弁体	CAC406+SBRライニング
13	上弁体	C A C 4 0 6
14	軸押え	C A C 4 0 6
15	口金フランジ	C A C 4 0 6
16	口金	S U S 3 0 4
17	外し金	S C S 1 3
18	弁軸(下)	C 3 7 7 1 B
19	弁棒(下)	SUS304TP
20	弁軸(中)	C 3 7 7 1 B
21	弁棒(上)	S U S 3 0 4
22	弁軸(上)	C 3 7 7 1 B
23	六角ボルト、ナット	S W R M
24	六角ボルト、袋ナット	S U S 3 0 4
25	スプリング式排水弁	C A C 4 0 6
26	スラストワッシャ	P O M
27	スラストリング	P O M
28	くさり	SWRM+Znメッキ
29	副弁弁箱	FCD450-10
30	副弁ふた	FCD450-10
31	グラウンド	FCD450-10
32	ギアボックス	FCD450-10
33	副弁キャップ	FCD450-10
34	副弁弁体	ABS+フッ素樹脂コーティング
35	ウォームホイール軸	C 6 7 8 2 B
36	ウォーム軸	C 3 7 7 1 B
37	副弁弁棒	S U S 3 0 4
38	弁棒カバー	S T K 2 9 0
39	副弁弁座	NBR+PTFEライニング
40	ホルダー	S U S 3 0 4
41	フランジ短管	F C D
42	六角ボルト、ナット	S U S 3 0 4
43	ガスケット	S B R

品番10 打倒型の場合：打倒用こま
非打倒型の場合：アダプタ

注：1) 管土被りH=600の場合を除き、下記の部材を別途ご準備ください。

品番41：フランジ短管（呼び径75-7.5K、形式2 長さは表1参照）…1本

品番42：六角ボルト、ナット（M16×65）…4 set

品番43：ガスケット（呼び径75用GF-1号）…1本

2) 管土被りH=1200の場合は、副弁の間面（※印）寸法を250mmとします。

特長

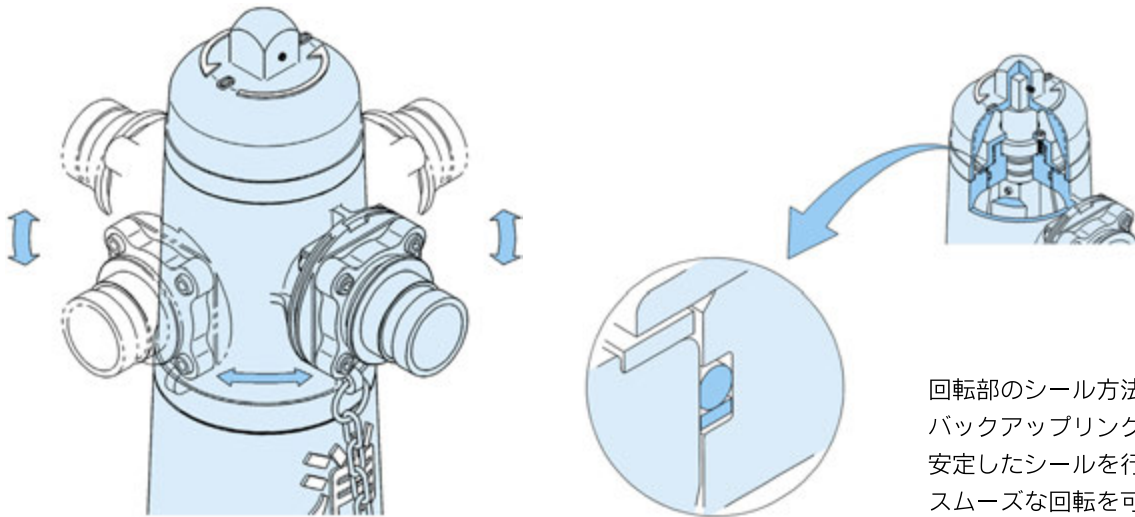
その1 口金回転式

放水口が360°回転でき、いずれの方向でも放水作業が可能。

地上式消火栓で放水作業を行うとき、その放水口である口金部を360°回転することができ、いずれの方向でも放水できる構造を標準仕様としています。

口金固定式では、配管され設置したときの方向のみに限られ、いざという時に接続したホースが折れてしまったり、違法駐車などの車が邪魔となり迅速な消火活動ができなくなったりと何かと支障がありがちですが、回転式では、止水時はもちろん通水時でも放水口の向きが変えられ、能率的な作業が可能です。

なお、口金の材質には、変形などの損傷を防ぐ為にステンレス鋼（SUS304）を用いています。



回転部のシール方法は、Oリング&バックアップリングを用いることで安定したシールを行い、口金回転時にスムーズな回転を可能にしています。

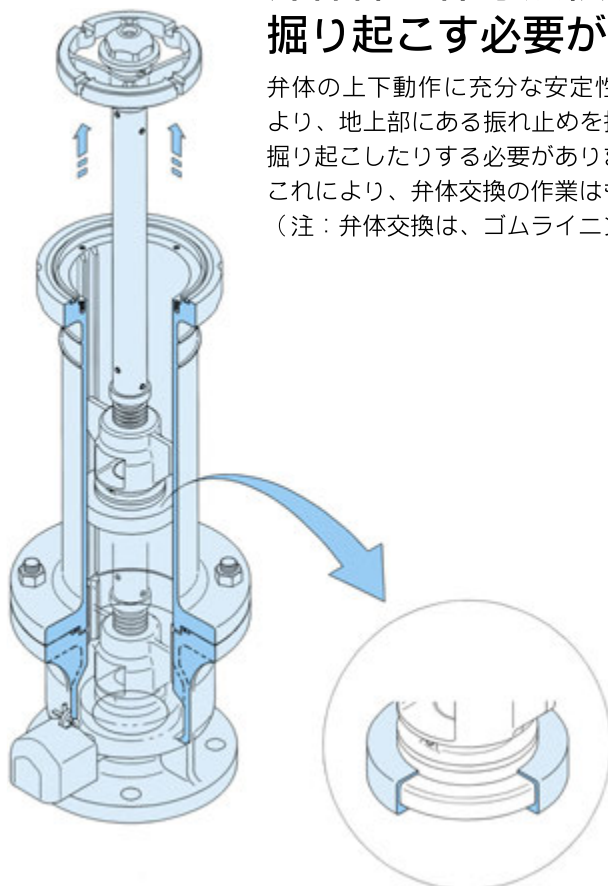
その2 弁体引抜式・弁体ゴムライニング

弁体部の保守点検や交換などのとき、地下埋設部を掘り起こす必要がありません。

弁体の上下動作に十分な安定性を持たせ、そのガイドレールを短管迄設ける構造としたことにより、地上部にある振れ止めを持ち上げれば弁体と共に引き抜くことが可能になり、地下埋設部を掘り起こしたりする必要がありません。

これにより、弁体交換の作業はもちろんのこと、保守点検も容易に行うことができます。

（注：弁体交換は、ゴムライニングした下弁体のみを取替えるだけです）



弁体弁座をゴムライニングすることで部品の簡略化を計り、シンプルで確実な止水を実現。

弁箱内面の粉体塗装化に合わせて、弁体弁座をゴムライニングすることで、仕切弁でも実績のある、ソフトシール化を実現しました。

あわせて、部品を簡略化することでスムーズな流れはもちろんのこと、シンプルで確実な止水を可能にしています。

その3 打倒型(復旧可能型)

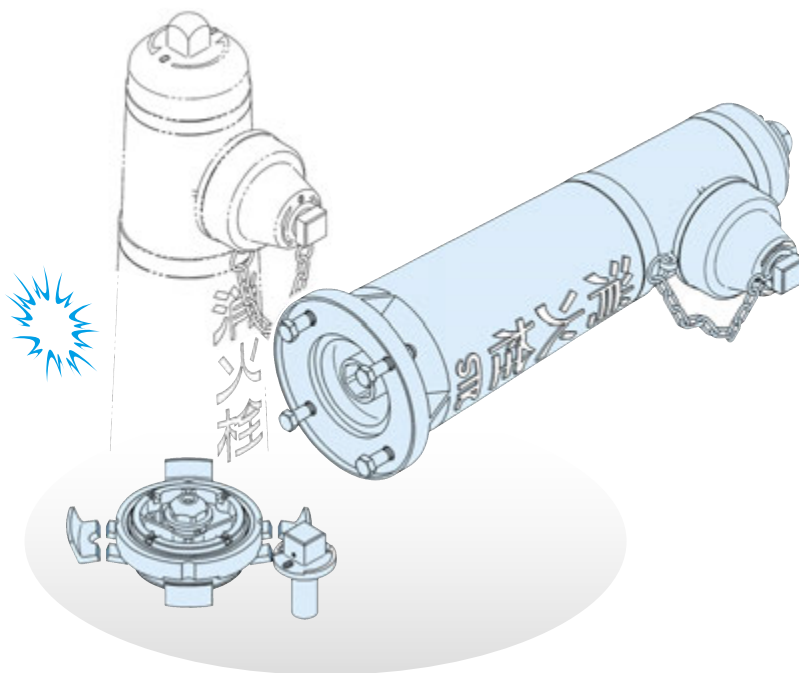
たとえ、自動車が衝突しても地上部は破損せずに倒れ、ムダな放水もなく、また復旧作業も簡単におこなえます。
(UR-37シリーズ)

地上式消火栓は消火作業の都合上、道路際に設置されることが多いですが、当然乍ら自動車がその地上部に衝突し、これを倒してしまうことがないとは言えません。

そんな時、打倒復旧可能型なら、地上部と地下部を連結している打倒用コマが破損するだけで、地上部はそのまま倒れ、また打倒用ジョイントが分割することで、主弁は止水したままの状態を保っています。

復旧作業は、破損した打倒用コマを取替えていただければ簡単に組み立てることができます。

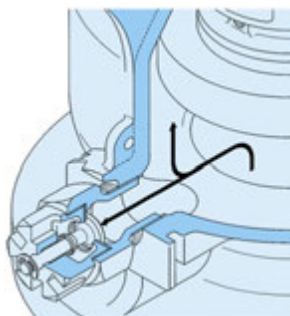
なお、口金の材質には、変形などの損傷を防ぐ為にステンレス鋼(SUS304)を用いています。



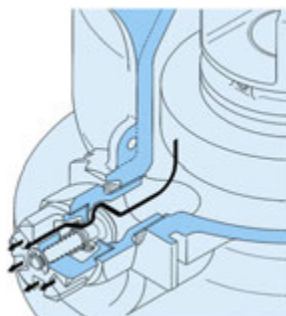
その4 スプリング式排水弁

消火栓の通水・止水に敏感に反応し、特に止水時にはすばやい排水で、消火栓内の凍結を防止します。

消火作業終了後の消火栓内の残留水は、凍結破損防止のうえでも、すばやく排水する必要があります。そこで、圧力反応形でもあるスプリング式排水弁を設けて、通水(加圧)時には確実な止水を、止水(無圧)時には迅速な排水を果たします。

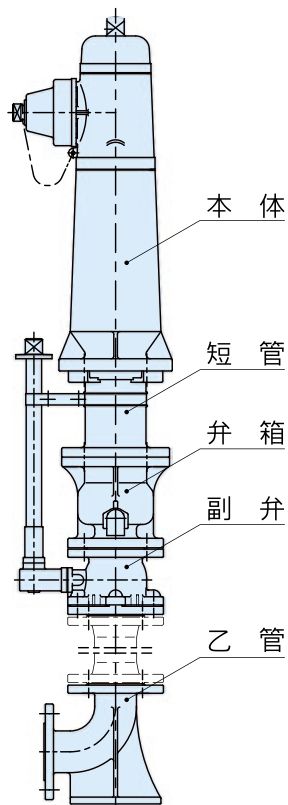


通水(加圧)時 → 排水弁止水

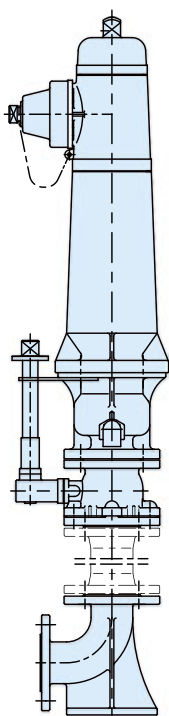


止水(無圧)時 → 排水弁通水

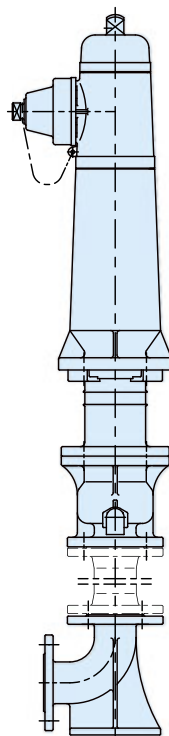
パリエーション



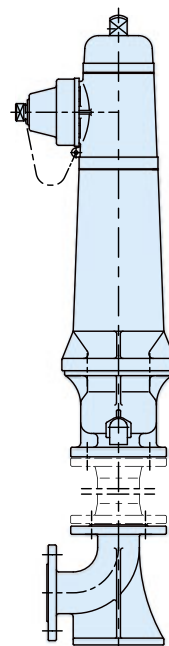
打倒型：UR-371
非打倒型：UR-361



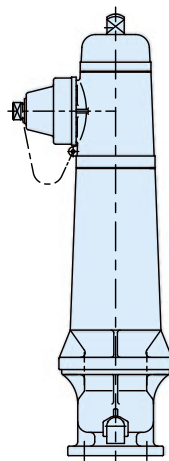
非打倒型：UR-362



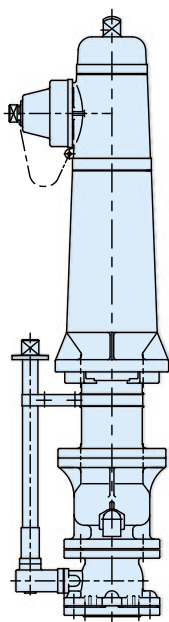
打倒型：UR-373
非打倒型：UR-363



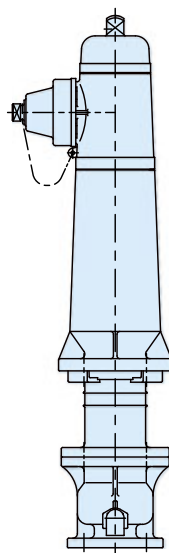
非打倒型：UR-364



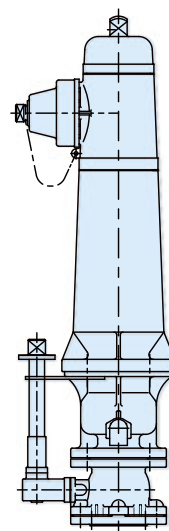
非打倒型：UR-365



打倒型：UR-376
非打倒型：UR-366



打倒型：UR-377
非打倒型：UR-367



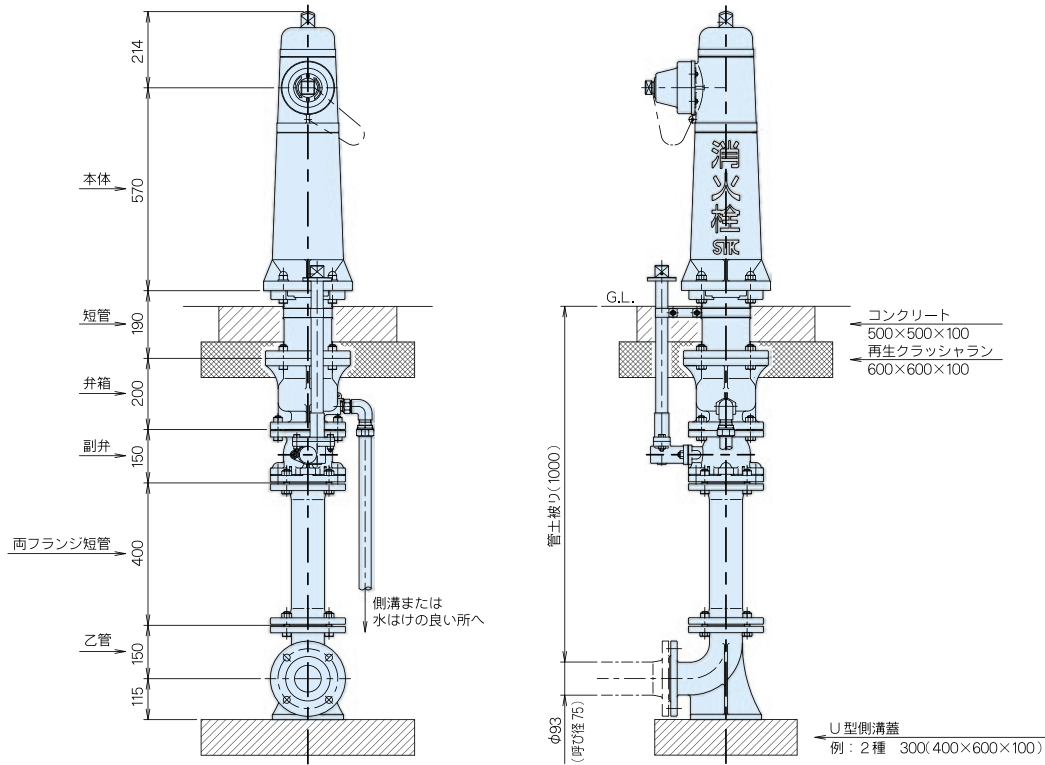
非打倒型：UR-368

標準仕様

呼び径	75mm
フランジ	JWWA B 103準拠(弁箱)
試験圧力	耐圧試験：1.75MPa 弁座漏れ試験：1.3MPa
使用圧力	0.75MPa
操作方法	キャップ操作式

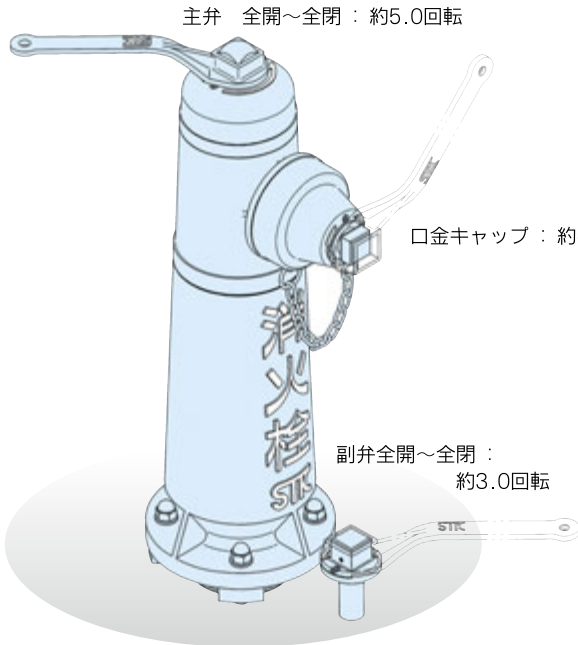
開閉方向	主弁、副弁共左回り開き、右回り閉じ
塗装仕様	内面：エポキシ樹脂粉体塗装(灰色)
	地上部外面：エポキシ樹脂粉体塗装＋ ポリエステル樹脂塗装(赤色)
	地下部外面：合成樹脂塗装(黒色)
	付属ハンドル：ナイロンコーティング(茶色)

設置例



UR-371型 管土被り1000mmの場合

操作方法



主弁の開閉操作に用いるハンドルは、口金キャップの外しにくい時や、副弁の開閉操作にも利用できます。すべて左回し開きで、その回転数は左図のとおりです。

ご注文いただくときは。。。

バリエーションは全部で12種類ありますので、ご注文の際は、その型式番号をご指示下さい。なお 管土被りによって、フランジ短管、六角ボルト、ナット、ガスケット を別途ご準備ください。

例：打倒型で、副弁・短管・乙管付の管土被り1200の場合
UR-371型-1200H

注：打倒型の場合には、必ず短管が必要となります。

また、前頁のバリエーション以外でお求めの場合は、弊社までお問い合わせ願います。

STK 角田鉄工株式会社

- ・本 社 工 場
〒522-0047 滋賀県彦根市日夏町2789 ☎(0749)25-2500代 FAX(0749)25-2505
- ・九州営業所
〒816-0932 福岡県大野城市瓦田3丁目6番5号 ☎(092)571-3300代 FAX(092)573-9594
- ・大阪営業所
〒566-0042 大阪府摂津市東別府4丁目1番1号 ☎(06)6827-4601 FAX(06)6827-4602
- ・東北営業所
〒989-2432 宮城県岩沼市中央3丁目4番5号 ☎(0223)23-8550 FAX(0223)23-8560